

捜査一課の反訳文 被害者と原告との会話

オデリア：私、今とっても酔っ払ってる。

被告人：うん。いいじゃない。

オデリア：おねがい、おねがいだから、それを私にやらせないで欲しいの。

被告人：ビデオ。

オデリア：いや、ごめんなさい、信じられないわ。

被告人：どうして？

オデリア：私、めっちゃめっちゃ酔っ払ってる感じ。もう、いや、おねがい。

被告人：ダンスしたほうがいいよ。

オデリア：あなたに本当のこと言うわ。

被告人：うん。

オデリア：わかったわ。それ止めて。(ビデオをどけるような仕草を示す。) 馬鹿げている。心から外へ。あなたは好き？あなたは正直な(聴取不能)受け取ってもらいたい。私は悪い感じではないんだけど、恥ずかしいの。たぶん、私としては、いくつかの段階を経る必要があるの。理由はわからないけど、私はこれが好きじゃない。私は私の(聴取不能)と一緒にダンスした方がいい。私は分からない。だけど、あなたには言うけど、私、本当に酔っ払っちゃった。初めにあなたに言ったと思うけど、私は酒をあまり飲む女じゃないの。たぶん、(聴取不能)。あなたに言いたいんだけど……。

被告人：俺は温かくして飲む。これ飲みなさい。とにかく飲みなさい。

オデリア：あなたにお願いしたいんだけど。私のことを評してくれる？

被告人：飲みなさい。

オデリア：何？

被告人：飲みなさい。これを飲んだ後、一緒にコーヒーを飲もう。いいかい？

オデリア：あなたに言うけど、私今、目も開けられない。

被告人：(笑う) オーケー。乾杯！ 飲め。

オデリア：聞いて。私は私の人生ですっとストレスを感じていたの。

被告人：オーケー。全てを忘れなさい。

オデリア：私はコントロールできる。だけど、たぶん今はとても酔っ払っているの。ねえ、次はどうなるの？私は(聴取不能)を着た。私は私の(聴取不能)だから、私は眠る。私が眠っている間は、何も起こらないわよ。

被告人：そうだよ。

オデリア：私はぐっすり眠るだけ。

被告人：オーケー。

オデリア：私は本当に酔っていても、自分の生活を本当にコントロールできると思う。

被告人：どうやって？



オデリア：私は自分の限度が分かっている。私には限度がある。アルコールの量が少しでも。どうなるか。私は何のためにここにいる？眠ること。分かってくれる？私はそうすることにしたの。この後は、夜は終わり。もし私が私の手をあなたに動かしたら、私は死んだように眠る。何もない。あーあ。

被告人：オーケー。

オデリア：正直に話すけど、あなたは、本当に（聴取不能）だけど、お互いを知るのには時間がかかるの。私はとても保守的な女。

～中 断～

オデリア：私はセックスを見せたいけど、することは何もない。問題ない。あなたは私とセックスをしたい、問題ない。とても（聴取不能）、問題ない。

平成 20 年 3 月 4 日

翻訳人：警視庁警務部敬養課

副主査

並木雄一

裁判所内日本記録士協会の反訳文

オディリア__Track 1

(M: 男性の声; F: 女性の声)

F: 私、今は本当に、本当に酔っ払っているわ。

M: そんなことないよ。もう少しだけ。

F: だめ、だめ、お願い。本当に酔いがまわってしまっている感じ。

M: ほんのもう少しだけ。

F: だめ、だめ、だめ、お願い。

ごめんなさいね。なんだかお行儀がわるくて。

M: 大丈夫。

F: ほんと、とても、とても酔っているわ。

あ〜、だめよ、お願い

M: 踊ろうか?

F: だめ、出来ないわ

ほんとのことを話すわね。OK。あだめ。まっすぐにしています。

M: OK

F: あのね、あのね、正確かどうかわからないけど、心から出てくることをね。

あなたは、あなたは、正直にものごとを受取ることが出来ることが好きよね。

わたしは、誰かに投資されていると感じることが嫌いなもの。

多分、例えば、仕事していると感じることが必要なもの。今は、それが無いけど。

どちらかと言えば、今は、めくらの絵描きのような、いやな(くそったれの)酔っ払いよ。

学ばなければ。私たちは学ぶわ。

最初に話したように、わたしはそんなにアルコール飲料に強くないのよ。

多分、この辺で、セックスにする? コーヒー飲むわ。

なにかするには、もう、ぼんやりしてきているわ。

M: ホットコーヒーのほうがいいよね?

F: ええ。何か飲まなきゃ。

M: OK。飲んで。

F: 私を紹介してくれるため署名をしないで欲しいわ。

M: 大丈夫。歌うことが好きだけ。飲んで。

コーヒーを飲んだら行こう。それを飲んで。

F: あのね、話しをしたいんだけど。う〜ん、目を開けていることが出来ないわ。

M: (笑い声)

OK。手を貸して。

F: う〜ん。アンティル諸島のワインをみんなに上げたいわ。(M: OK。) 私はコントロールできるのよ。でも、今は、どうかな〜。これから、次のステージに入りましょう。こ

ここに、(これを枕にして) 私の頭をおいて (M: 笑い声)、それから、眠りに入るの。
そして、眠っているあいだに、何かがおきているの。
美しい眠りに入るの。

M: OK。

F: 今は、本当に、本当にどんなに酔っ払っても、でも、本当に私は自分の人生をコントロールできるとおもう。

M: そうだね。

F: 私は、私の限界を知っているわ。最小限の量のお酒を飲んで、頭をここにあって、そして眠るの。

M: うん。

F: それが解る?

M: うん。

F: そして全部ことがすんだら、その後で、私のしたいことは、眠ること。

M: うん。

F: でしょう。何にもない。あ～あ。

正直いって、あなたはほんとにナイスガイだわ。でも、お互いを知り合うには時間がかかるわ。私は、とても保守的な人間よ。

ええと、このコーヒーは随分もつわね。

シャワーをあびて、セックスして、そして何もなし。

何かしなければ。男性がいるんだから。問題ないわ。

あなたはセックスしたいのでしょ。問題ないわ。

それは当たり前のことよ。問題ないわ。

M: (笑い声)

F: う～ん。